



応用力の高い子と低い子の差は、「なぜだろう？」と素直に感じ、「なぜなら」を探し続ける経験の差といわれています。この講座では、未知の問題への適応力、学習の吸収力を高めることを目指します。

算数・国語・理科・社会の教材や新聞記事等からの題材を使って、先生は誰よりもものわかり悪く、「なぜだろう」と立ち止まって子どもたちと一緒に考え、学校の授業では省略されがちな問題の論理構造を明らかにする作業に集中的に取り組みます。社会にでて夢をかなえるための「本物の学力」を身につけましょう。

講師プロフィール
野村 竜一
学習塾ロジム専任講師

東京大学教養学部卒業。在学中カリフォルニア大学サンタバーバラ校へ派遣交換留学。NHKディレクター等を経て、外資系戦略コンサルティング会社にて企業の事業戦略策定に携わる。ロジムではロジカルシンキングと低学年・中学年の理科・社会を担当。

第1回 4/26(月) もれなくダブリなく ~グループ分け~

身近な病院の種類を考えると、「個人病院 一般病院 公立病院 大学病院」と分けた場合、並べるレベル(階層)が違うことにきちんと違和感を感じますか？
「グループ分け」の基礎を体系的に学習します。

第2回 5/24(月) もれなくダブリなく ~ピラミッド図~

何のために「もれなくダブリなく考える」のか、その答えを具体的に体験してもらいたいです。作文・発表をする際、ひとつの主張を支える理由・根拠がもれなくダブリなく書かれていることで、説得力が増すということを体験します。

第3回 6/21(月) もれなくダブリなく ~プレゼンテーション~

伝える内容 伝え方の2つに分けて練習します。
徹底的な情報整理がわかりやすい発表を形づくることを理解します。

第4回 7/12(月) 仮説を立てて考える

未知・初見の問題を、今までこなしした類題として捉えることができるかどうか。
そのカギを握るのが仮説思考です。

第5回 9/13(月) まとめる力~つまり何をいっているのか~

なんとなく全体をながめるのではなく、「自分なりに区切ってまとめてみる」ことは、文章の構造理解を早く正確にする第一歩です。ここでは、さまざまな文章の要約作業をとおして、「つまり何がしたいのか」を把握することの重要性を理解します。

第6回 10/18(月) グラフの読み取り~そこからいえること~

与えられた情報を効果的に伝えるためには、どのグラフを使えばいいのでしょうか。
自分の伝えるメッセージは何なのかを意識して、折れ線グラフと棒グラフの正しい使い分けはできますか？
グラフがもつ情報をうけとり、示唆するものを見いだすのがねらいです。

第7回 11/15(月) グラフを使った説明

機械的にみえるグラフ化・図式化には、与えられた情報の性質を分析し、適切なグラフ・図を選んで自分が伝えるメッセージの仮説を組み立て、検証しながら論理を展開していくプロセスが存在します。
グラフを使って自分のメッセージを伝える練習をします。

第8回 12/13(月) 説明する

「説明すること」には方法があります。これまで学習してきた「もれなくダブリなく考える」「前提条件を整理する」「与えられた情報を読みとる」「自分の立場にたったメッセージ発信を意識する」などに注意して、道案内ゲーム等を題材に演習形式で「説明」の重要スキルを練習します。

第9回 1/17(月) 論理思考演習

これまでの学習が日常生活、学校での発表、受験などでどのように応用できるのかを演習問題をとおして考えます。

第10回 2/14(月) 論理思考演習

これまでの学習が日常生活、学校での発表、受験などでどのように応用できるのかを演習問題をとおして考えます。

受講生へのメッセージ

「なぜ昔の人は地球が丸いとわかったのだろうか」「世界中のクツの数を予想することができるってホント？」
「グラフを一枚つくるだけで60分しゃべり続けるよりもわかりやすいことがあるってホント？」
皆さんがまだ習っていない「考え方」を、少し知っただけで見えてくることが、世の中にはたくさんあります。
どうせしなくてはいけない勉強、せつかくですから楽しく考える方法を習ってみませんか。

備考

八名川小学校にて開講。
4・5年生対象。
教材はオリジナルテキストを使用。